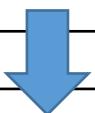


これまでのとりくみ(P・D)



全国学力・学習状況調査の結果より(C)



これからのとりくみ(A)

## 本校の研究目標

自立をめざす授業～学びをナビゲートする力を育む～

### <本校の強み>

- ・ICT 活用に2015年度から継続してとりくんでいる。
- ・ビジュアル重視の表現力には長けている。
- ・素直な児童が多い。
- ・自分に最適な学び方を選択できる学習環境が整っている。

### <学校の課題>

- ・家庭で学習する習慣があまりなく、学校内での学びに留まっている。
- ・学習環境は整ってはいるが、その環境を生かし切れていない。
- ・課題を設定したり、メタ認知して自己を客観的に振り返ったりし、自己調整していく力。
- ・自分の考えを、まとった文章で書く力。

## 教科の結果より

### <思考力・判断力・表現力>

- ・「読むこと」全体の正答率は全国より 3.9pt 下回り、要旨をつかむ力や必要情報を見付ける力が課題。
- ・国語③-三-(2)において、与えられた資料を用いて、自分の考えを筋道立てて表現する力は全国よりも 13.4pt 低い。
- ・算数②-(4)において、面積の求め方を式や言葉を用いて記述する力は、全国よりも 15.6pt 低い。
- ・論理的に考え、筋道立てて答えを導く力の育成が必要。
- ・自分の考え方や求め方を言葉・式で説明する力の強化が急務。

## 児童質問より

- ・「友達関係に満足している」と答えた児童は、94.1%で全国を上回り、安心して過ごせる学校環境が整っている。
- ・「先生は自分のよいところを認めてくれている」と答えた児童は、100%で、教師からの肯定的な承認が全児童に行き届いている。
- ・「いじめはどんな理由があってもいい」と答えた児童が 88.2%で全国平均を上回る。
- ・「自分にはよいところがある」と回答した児童は、全国より 10.4pt 低い。自己肯定感を育むアプローチをしていく必要がある。
- ・「自分で学び方を考え、工夫できる」と答えた児童は 52.9%で全国より約 30pt 低い。必要に応じて、柔軟に学び方を調整するなど、自立した学習に課題がある。

### ○情報を選び取る力を育成

→不要な情報に線を引くなど、取捨選択の練習を段階的に行う。

### ○筋道立てて書く力の定着

→「型」を示して論理的に書く練習を重ねる。

### ○まとめ・表現活動の充実

→単元末での知識技能の活用。見方・考え方の育成を図る。

### ○思考力・説明力の育成

→「考え方シート」で思考の流れを可視化し、毎日 5 分の説明練習で表現力を高める。